MFK-1007/1008

MOTO FIZZ

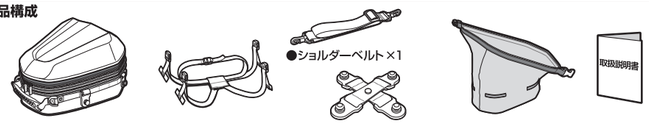
〔取扱説明書〕

SHELL SEAT BAG M

シェルシートバッグ M

●この取扱説明書をよくお読みの上、安全に正しくご使用くださいますようお願いいたします。
●この取扱説明書はお読みになった後も、いつでも見られるように大切に保管してください。

◉部品構成



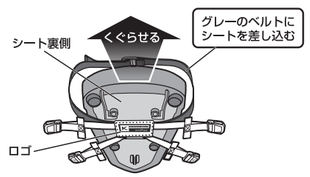
補修パーツ（消耗品パーツ）のご案内
お求めはお近くの「モトフィズ」取扱店にてご注文ください。

部品番号	名　称	セット数
MP-360	接続バックル PF25	1個
MP-363	Kシステムベルト PF25	1本
MP-364	ショルダーベルト	1本
MP-371	防水インナー	1個
●オプション　MP-366	固定ベルト PF25(4本)	4本
●オプション　MF-4729	プレートフック3	1個
●オプション　MF-4748	プロテクターシート シートバッグセット	1セット
●オプション　MFK-9000	ワイヤーロック ストレート	1個

バイクへの取り付け方法

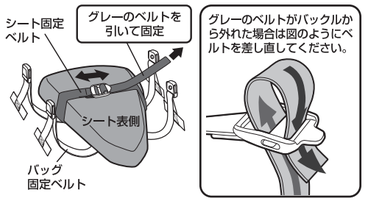
シートへの取り付け《 K システムベルト PF25を使用 》

1 シートを取り外し、図のようにＫシステムベルトをシート裏側でロゴが見えるように位置を決め、シートの突起を避けながらグレーのベルトにシートをくぐらせます。



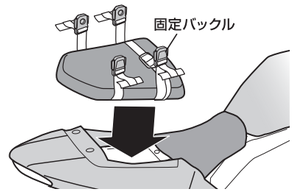
⚠注意　ベルトが捻じれないように整えてください。

2 シート表側でグレーのベルトのバックルをしっかり引いてシートに固定してください。グレーのベルトは回転移動できますので、ベルトが引きやすい位置に調整してください。



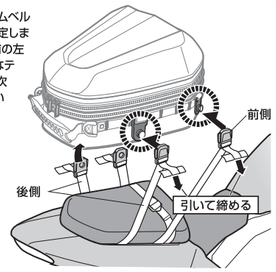
⚠注意　シート固定ベルトがしっかり固定されていないとベルトがすれて安定しません。

3 シートを戻し、しっかりと車体に固定させます。（この時に固定用のバックルのついた４本のベルトをシートの外へ上向きになるように出してください。）

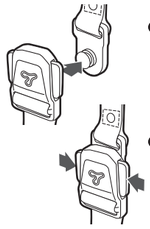


⚠警告　ベルトが車体側のフレームやフックに挟まれて破断する事のないようにご注意ください。

4 本体のバックルにＫシステムベルトのバックルを嵌め込み固定します。不安定にならないように先に前の左右のバックルを同時に引いて適度なテンションにベルトの長さを調整し、次に後ろの左右バックルを同時に引いて長さを調整してください。



バックルの着脱方法

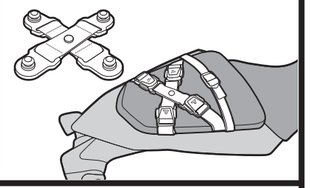


●バックルの嵌め込み
バッグ側の凸部にベルト側バックルの凹みに「カチン」と鳴るまで嵌め込みます。

●バックルの解除
バックル両側のボタンを同時に押す事で接続が解除されます。

接続バックルの使用方法

バッグを取り外した後のＫシステムベルト・固定ベルトは接続バックルで、車体に取り付けておく事が可能です。

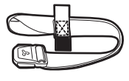


車体への取り付け《 固定ベルト PF25(別売り)を使用 》

※シートへの取り付けが難しい場合や車体にベルトで取り付けたい場合に使用します。

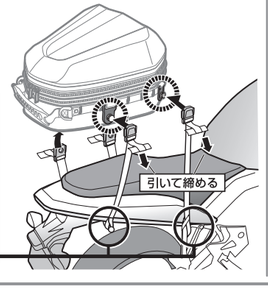
⚠注意　「Kシステムベルト」と「固定ベルト」の併用は出来ません。

1 固定ベルト(別売り)のループを使用して下図を参考にバイクに取付けます。



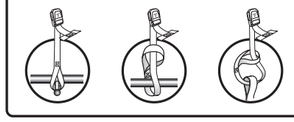
MP-366
固定ベルト PF25(4本)
（オプションパーツ：別売り）

2 固定ベルトを車体に繋げたらバックルを本体のバックルに嵌め込み固定します。前後左右が均等になるようにベルトの長さを締めて調整します。



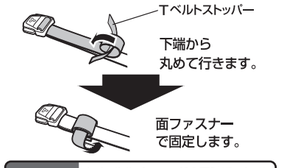
固定ベルトのループ使用例

●荷掛けフック　●車両フレーム　●ベルトタイプ荷かけフック



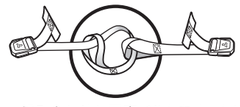
余ったベルトの収納方法

ベルト調整後、余ったベルトはＴベルトストッパーでまとめます。

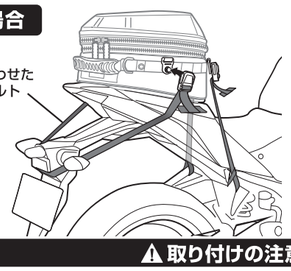


⚠注意　ホイールやチェーン等の可動部分に接触しないよう、余ったベルトはＴベルトストッパーでまとめてください。

車両後方部にフック等が無い場合

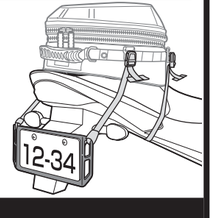


組み合わせた固定ベルトをオートバイのリアフェンダー部などに取り回してください。



参考　プレートフックシリーズ（別売り）を使用した場合

バイク後部に荷掛けフックが無い車両でもプレートフックを使用する事で、固定ベルトをより簡単で確実に装着することが出来ます。モトフィズプレートフックは様々な形状をご用意しています。詳しくはタナックス Web サイトでご確認ください。



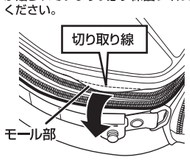
⚠ 取り付けの注意

●法令を守りお取り付けください。●シート・テールカウル・ウィンカーの形状等により、本製品を装着できない場合があります。事前に取り付け車両の形状を良くご確認ください。●バッグは走行に支障のない、安定した位置に装着してください。シート形状や取り付け位置等により装着後も安定しない場合がありますので、走行前に必ず操縦に支障のない事を確認し、また脱落等の無いように確実に装着してください。●走行による振動等で固定ベルト等は緩む場合があります。走行前には緩みがないか必ずチェックし、常に適切な装着状態で使用してください。●バッグやベルト等を長時間シートに取り付けた状態ですと、色移りする事がございます。特に暑い夏場等は適宜取り外してください。●バッグ本体やベルト・バックル等が車両に当たる場合は、事前に市販のプロテクターシート（モトフィズプロテクターシート：別売り）等でその部分を保護する事をお勧めします。●エンジン・マフラー・排気煙等、車体の熱くなる部分には近付けない様に装着してください。●K システムベルト等に傷やほつれが生じた場合は、破損、脱落の恐れがありますので必ず交換してから使用してください。（補修パーツリスト参照）

バッグの使用方法

●ご使用前に

本製品（グロスブラックのみ）は PC シェル部に保護フィルムが貼られています。必ず保護フィルムを剥がしてからご使用ください。

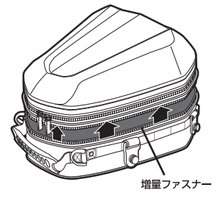


Point
保護フィルムはモール部をめくった中の切り取り線から剥がすとキレイに剥がれます。

⚠注意　保護フィルムを貼ったまま長期間使用するとフィルムが固着し剥がしにくくなる恐れがあります。

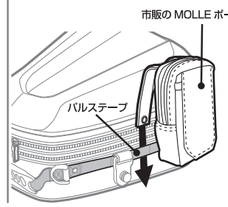
●容量の拡張方法

増量ファスナーを開けることで素早く容量がアップします。



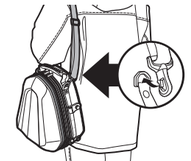
●パルステープ

サイドのパルステープに市販の MOLLE ポーチを装着できます。



●ショルダーベルトの装着方法

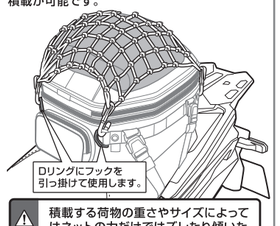
バッグの D リングにショルダーベルトを取り付け固定します。



⚠注意　オートバイ装着時は必ず取り外してください。

●上部積載の方法

本製品は形が崩れないシェル形状の上蓋を使用しております。D リングを利用して別売りモトフィズ・ツーリングネットを併用する事で上部積載が可能です。

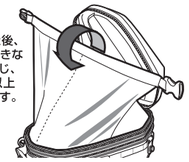


⚠注意　積載する荷物の重さやサイズによってはネットの力だけではズレたり傾いたりする場合があります。 状況にあわせて補助のベルトを使用するなどして確実に積載してください。

●インナー防水の使用方法

1 防水インナーの使用方法

❶荷物を入れた後、内部の空気を抜きながら開口部を閉じ、最低でも３回以上開口部を巻きます。



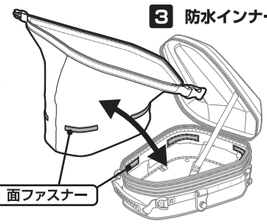
❷開口部左右のバックルを接続します。



2 防水インナーのお手入れ方法

本製品は本体と防水インナーの２重構造で浸水を防いでいます。構造的に本体と防水インナーの間で浸水します。浸水は水抜き穴で抜ける構造ですが、雨天走行後は必ず防水インナーを本体から外し、本体と防水インナーを乾燥させてください。

3 防水インナー装着方法



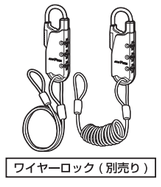
お手入れ後は取り外した逆の手順で本体と防水インナーの面ファスナーを合わせて装着します。

⚠注意
●完全防水ではありませんので水没や激しい雨天での走行では浸水する可能性があります。電子機器や大切な荷物はビニール袋等と併用し、より高度な浸水対策をお勧めします。
●本製品は外部からの浸水には強い構造となっていますが、バッグ内部と外側の温度差により結露が発生し荷物が濡る場合があります。特にマフラー等の発熱部品の近くにある場合や、長時間の雨天走行をすると、内部が結露しやすくなりますのでご了承ください。
●バッグの外側が濡れた状態で開けると、入り口部の水滴等が中に流れ落ちる事がありますのでご注意ください。

オプションパーツ（別売り）の使用方法

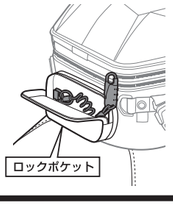
●バッグ盗難防止モトフィズロックポケットの使用方法

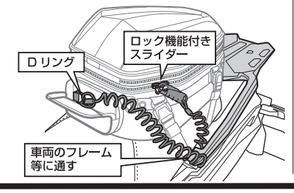
■ロックポケット内のDリングを利用してワイヤーロック（別売）を装着し収納する事が出来ます。



ワイヤーロック（別売り）

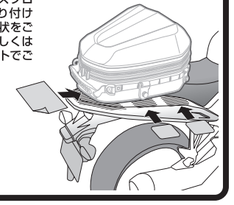
■駐輪時にワイヤーロックをバイクのフレーム等に通しバッグのロック機能付きスライダーに鍵を通す事で簡易的な盗難防止になります。





●プロテクターシート

バッグやベルトの接触面に貼る事で車体の傷付きを防止出来ます。モトフィズプロテクターシートは貼り付け場所により様々な形状をご用意しています。詳しくはタナックスWebサイトでご確認ください。



⚠ 使用上の注意

●法定速度内でご使用ください。●最大収納重量（4.0 kg）を超える積載は脱落や車両の破損の恐れがあるのでお控えください。●走行による振動等で固定ベルトが緩む場合があります。走行前には緩みがないか必ずチェックし、常に適切な装着状態で使用してください。●角が鋭い重量物を入れると、内装が破損する恐れがあります。その場合はパッキン等で包んで収納してください。●携帯ガソリンボトル、ガスボンベ等、引火性の強い危険物は火災の原因になりますので、収納しないでください。●林道や砂利道などの荒れた路面では振動でバッグが脱落する恐れがあります。路面の状況やスピードに充分注意して走行してください。●バッグは生地や縫製方法など通常使用での耐久性は充分に考慮されていますが、着脱時、ファスナーの開閉、バックルの扱いなどで無理な力を加えたり無理な扱いをすると破損する恐れがあります。大切にお取り扱いください。●寸法・容量等の表記につきましては、個体別の誤差が生じる場合がございますので予めご了承ください。●仕様は改良のため、予告なく変更する場合があります。●取扱説明書に書かれている指示及び警告に従わない誤ったご使用により損害が発生した場合、弊社はその責任を負いかねますのでご了承ください。

保管とお手入れの方法

●バッグは車体から外して保管してください。装着したままの保管をすると劣化を早めることがあります。
●表面等の汚れは、水で薄めた中性洗剤を含ませた柔らかい布で拭き取って、良く乾燥させてください。
●雨天走行等で濡れた場合は、そのままにせずバッグ内外の汚れと水分を拭き取りすべてのファスナーを開いて、日陰の風通しの良い所で乾燥させてください。
●保管の際は乾拭き・陰干しをしてから湿度、温度が低く風通しの良い場所に保管してください。

⚠ 注　意

ベンジン、シンナー、ガソリン等の有機溶剤の使用、及び水での丸洗いは生地を傷める原因となりますのでお避けください。

タナックス株式会社
千葉県流山市おおたかの森西 3-5-7　〒270-0128　TEL：04-7150-2450
TANAX CORPORATION
3-5-7,OTAKANOMORINISHI,NAGAREYAMA-SHI,CHIBA　270-0128,JAPAN　TEL：+81-4-7150-2450

TANAX WEBサイトへ 簡単アクセス! https://www.tanax.co.jp

KS1901062